

Title	長老会神学大学校 金総長 学術講演会実施結果：アンケート集計結果の概要（総合研究所 News：聖学院大学学術講演会）
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.23-No.3, 2014.3 : 62-63
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4971
Rights	



聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

聖学院大学学術講演会

長老会神学大学校 金総長 学術講演会 実施結果—アンケート集計結果の概要

日時：2013年12月18日（水）13:30～15:00

場所：聖学院大学ヴェリタス館教授会室

【プログラム】

開会挨拶

講演「教会と政治」

長老会神学大学校総長 金 明容

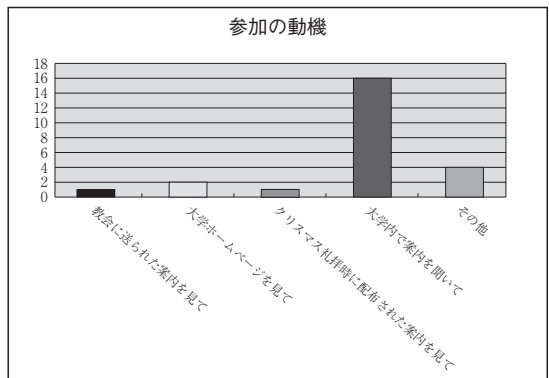
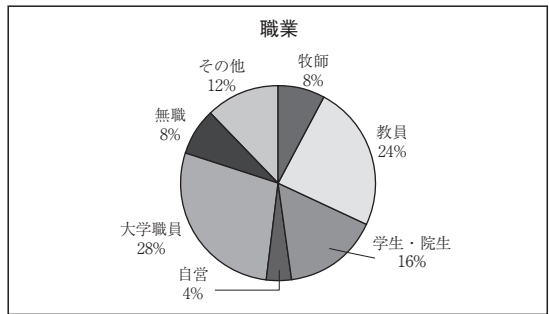
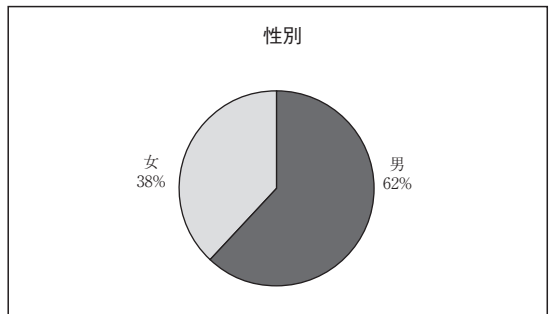
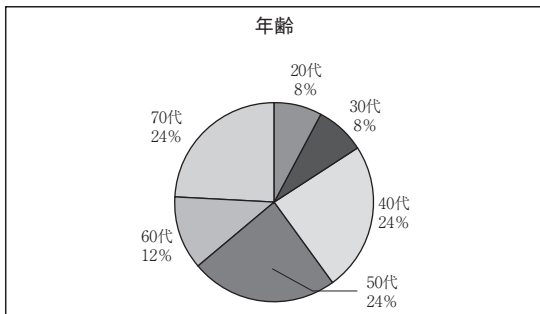
質疑応答

【結果の概要】

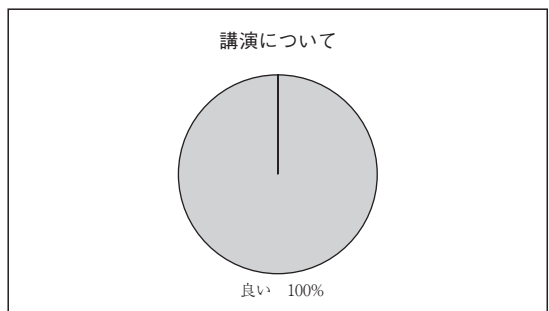
- ・参加者は69名。内、アンケート回答者は25名。
- ・講演について、「良い」という意見が100%と高い評価だった。
- ・意見として、「大変興味深い講演だった」「深く考えさせられた」「通訳がわかりやすかった」「共感した」など。

グラフ

(N/A除く)



講演について



- ・神学の現代的意味、重要性について教えられました。
- ・非常に学び多い講演で、深く考えさせられました。
- ・1. カールバルトは自分にとって重要な人物ですので、「教会と政治」はおもしろいテーマです。
- ・2. 通訳の業が非常によい。わかりやすく好感

が持てます。

3. 「祈る教会は神の国のために大切である」という言葉に感動しました。”

- ・盛りだくさんな内容、教会固有の領域に国家が介入して来そうな時代を予感する。
- ・宗教と政治は中世から大きな問題であるが、今なお、世界中で解決されない課題です。「対話と説得」「下から上へ上り行く民主主義」など、世界の平和を願う私たちにとっても、大切なキーワードが含まれており、同感します。
- ・強要でなく対話と説得を続けること、そこに神のご意思が働いていることを信ずる為に聖書に聞き、教会で祈り続けることを大切にすると改めて胸に刻みました。おごることなく、神の国は神によって建てられることを忘れずに、しかし靈魂の問題のみに焦点化しないでキリスト者として歩み続けたいと思いました。ありがとうございました。
- ・教会で政治的な問題は取り上げるが、運動としては参加してない。
- ・私個人に向けられた大切な、教会と政治の問題でした。
- ・とても明確なメッセージのこめられた講演で、大変励まされました。
- ・日本語はわかりやすかったです。興味深いテーマでした。
- ・Great Content-Need time to dissnss!! More
- ・内容が深く、よい講演でした。
- ・大変明解な講演でした。
- ・大変よい内容でした。
- ・通訳の入る講演について、時間の配分の工夫があればよい（途中からではなく、最初から）。

自由意見

- ・公と公共との違い。Analogieとプラトンのideaの違いをもう少し。
- ・金先生のお働きに感謝。
- ・これからもこのような講演を開いてください。
- ・教会は国家のために祈らなければならない。今の現状を思いますとき、この言葉が強くせまってきました。
- ・時間も厳密に守られて、進行状況も大変よかつ

たです。

- ・ガバナンスについて、宗教的視点からの示唆を与えられました。
- ・共感しました。